

# 津麦ニュース 平成31年産 第2報

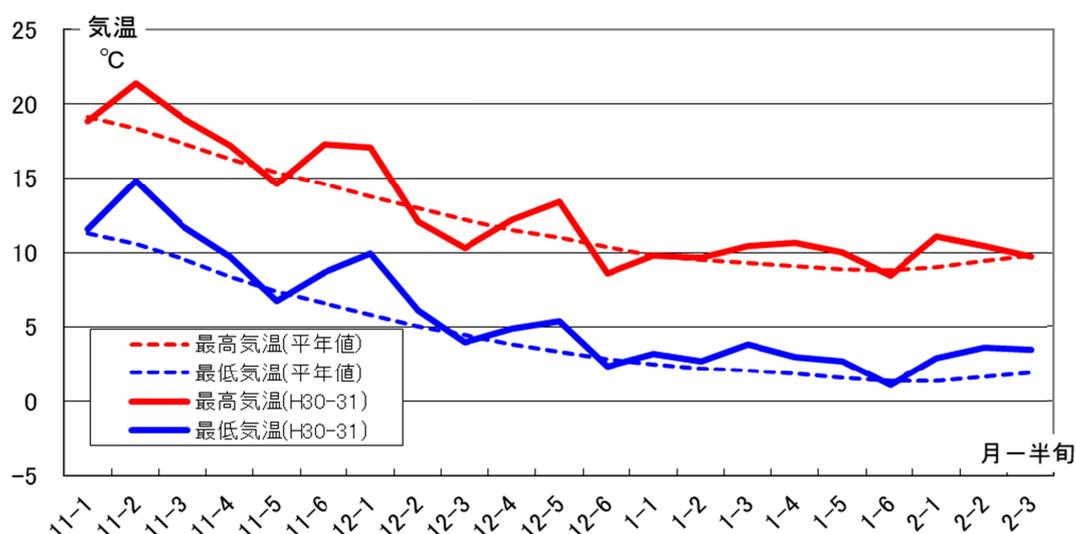
平成31年2月15日発行  
津地域農業改良普及センター  
電話:059-223-5121

**麦の生育は順調に進んでいます  
今後、積極的な追肥を行い、生育量を確保しましょう。**

## < 気象経過 >

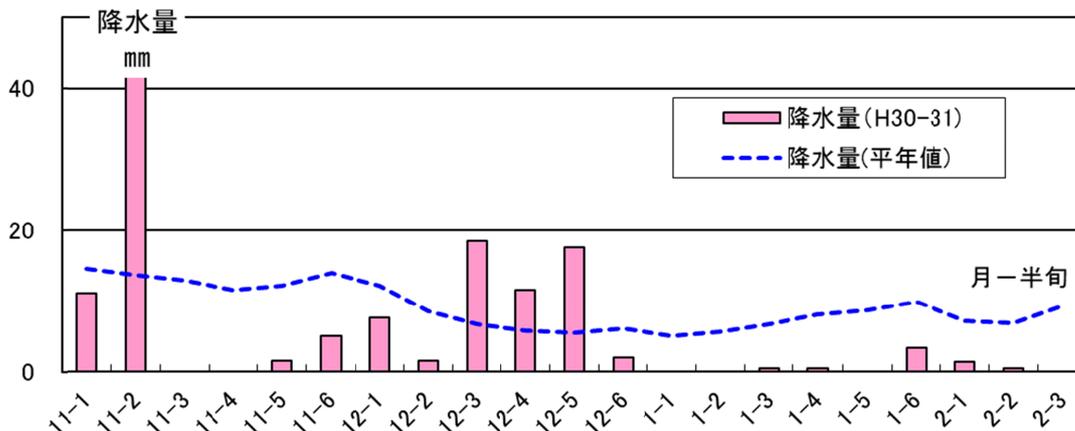
### 気温

11月、12月は高温傾向が続き、年明け以降も高温傾向が続いています。



### 降水量

11月第2半旬に降水量が多くなりました。特に、11/9の雨では津で28mmの雨が降りました。その後は定期的な降雨はあったものの降雨量は少なく推移していましたが、12月中旬になり雨の日が多くなりましたが、年明け以降、雨が少ない状況が続いています。



### 日照時間

12月に入ってぐずついた天気となる日が多く日照時間は平年を下回っていましたが、平年並みの日照時間が続いています。

## < 麦の状況 >

### 生育状況

気温が高く推移しており、生育は平年よりかなり進んでいます。特に11月第1半旬に播種されたほ場は生育が旺盛で8葉期となっています。11月中旬に播種されたほ場は、6葉期前後になっています。

### 病害虫発生状況

現在のところ、コムギ縞萎縮病等の病害や、虫害は観察されていません。

#### 平成31年産(平成30年播)小麦生育基準ほの生育状況(平成31年2月5日現在)

地区	品種	播種日	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉色 SPAD	葉齢 (L)
芸濃町 椋本	あやひかり	11月18日	15.3	456.0	38.8	6.1
安濃町 田端上野		11月12日	17.0	394.0	37.8	5.9
白山町 川口		11月2日	25.4	642.0	39.4	8.3

## < 今後の対策 >

### つなぎ肥

11月上旬の播種の場合は1回目の穂肥から、2回目の追肥(止葉抽出期3月中下旬)までの期間が長くなってしまいますが、穂数の確保に重要な時期ですので、「肥切れ」させないことが重要です。2月中に葉色が薄い場合は、早めにつなぎ肥(窒素1~2kg/10a)を行ってください。

### ○ 追肥

11月中旬、下旬播種の場合は、幼穂形成期(2月上旬~)、止葉抽出期(3月下旬頃)に追肥(窒素2~3kg/10a)を施用しましょう。

### 麦踏み

麦踏みはほ場がよく乾いているときに、茎立ち期(草丈が20cm程度)までに、10~14日間隔に実施します。

### 排水溝の点検

冬期の降雨、麦踏み作業等によって排水溝が埋まってしまう場合があるので、3月中に溝の補修、排水路の連結をし、登熟期間に降雨後の停滞水がないようにしましょう。

### 赤かび病防除

開花期~開花盛期にかけて、かび毒の発生を抑えるため、コムギ赤かび病の予防散布を必ず実施しましょう。また、曇雨天が続く、赤かび病の多発性が心配される場合は追加防除をしましょう。

### 小麦の生育予測

平成31年2月13日現在

品種	播種日	止葉抽出期 の予測日	出穂期の 予測日	開花期の 予測日	成熟期の 予測日 (平年との差)
あやひかり	11月1日	3月19日	4月8日	4月17日	5月27日(1.1日早い)
	11月10日	3月26日	4月11日	4月21日	5月31日(0.7日早い)
	11月20日	4月1日	4月16日	4月25日	6月4日(0.9日早い)
	11月30日	4月4日	4月21日	4月28日	6月6日(0.7日早い)

三重県農業研究所作成の生育予測システムVer.9.2による予測です。  
気象庁アメダス津観測地点(平均は直近10ヵ年)を使用しました。